

盛岡市廃棄物処分場の再整備について

平成14年11月20日

環 境 部

1 施設の概要

(1) 位置

岩手郡玉山村大字川又字大日向 32 番地 5
清掃業務課リサイクル事業所地内

(2) 施設の規模

面 積	90,300 m ²
計画埋立容量	1,017,050 m ³
平成 15 年度以降の埋立残存容量	約 390,000 m ³

(3) 埋立開始年月日

昭和 52 年 11 月 1 日

2 再整備の概要

(1) 再整備の趣旨

現処分場の届出上の埋立期間は平成 15 年 10 月までとなっているが、埋立残余容量を調査した結果、既存処分場区域内で今後 10 数年間さらに埋立が可能である。

現処分場を継続して使用するにあたり、平成 10 年に改正された国の「最終処分場に係る技術上の基準」に合致した埋立地の整備を行うとともに、現浸出水処理施設の機械設備を更新などし、周辺環境への負荷の軽減を図る。

(2) 整備の主な内容

- ・土えん堤及び遮水シートの設置
- ・既存浸出水処理施設の改造等（機械等設備の更新、各種槽の改造）
- ・その他関連施設（管理用道路の整備、雨水排水施設及び防災調節池の設置等）

3 今後の予定

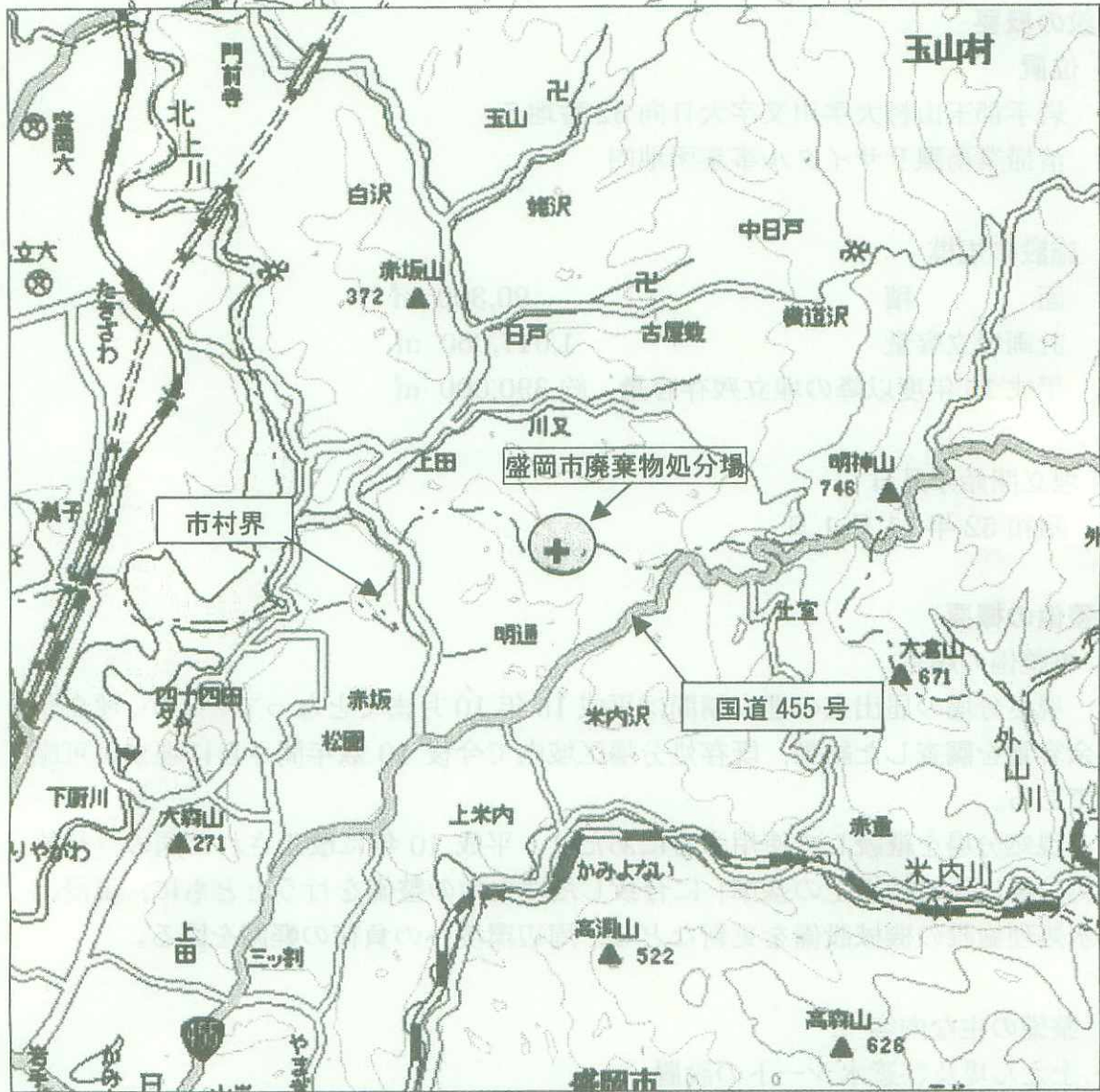
工事期間（予定） 平成 15 年度から 17 年度

水質調査は玉山村との協定の範囲内。
魚類・水質汚濁物の調査は無い。数値に限りなく現在のレベルに問題なし
H3では魚が住んでいないし「飲めず」との話だった。何の問題も無い。
今から調査して結論を出す必要はない。

別 図

アノゴニ隆道再の部代設村業此市誠物

処分場の位置



図面の詳細は、(表)の副図を参照。各図の解説は、本図の下部、(表)の副図を参照。各図の解説は、本図の下部、(表)の副図を参照。

表の図面 10

表の 71 (表)の副図を参照 (表)の副図を参照

盛岡市廃棄物処分場の再整備について

再整備の趣旨

盛岡市廃棄物処分場は、埋立残余容量が相当見込まれます。今後も処分場として安全に使用していくため、市では再整備を行うこととしております。

なお、本資料は再整備のイメージをお知らせするために作成しました。基本設計をもとにしておりますので、今後変更する可能性があります。

平成14年11月
盛岡市環境部

◆ 現 状

処分場の位置

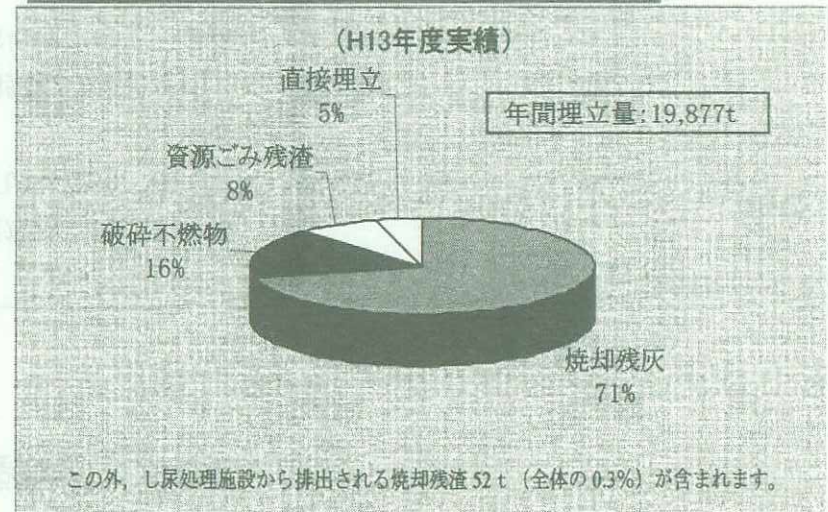


公用開始年月日 昭和 52 年 11 月 1 日

埋立面積 90,300 m²

埋立容量 1,017,050 m³

埋立処分している一般廃棄物の種類



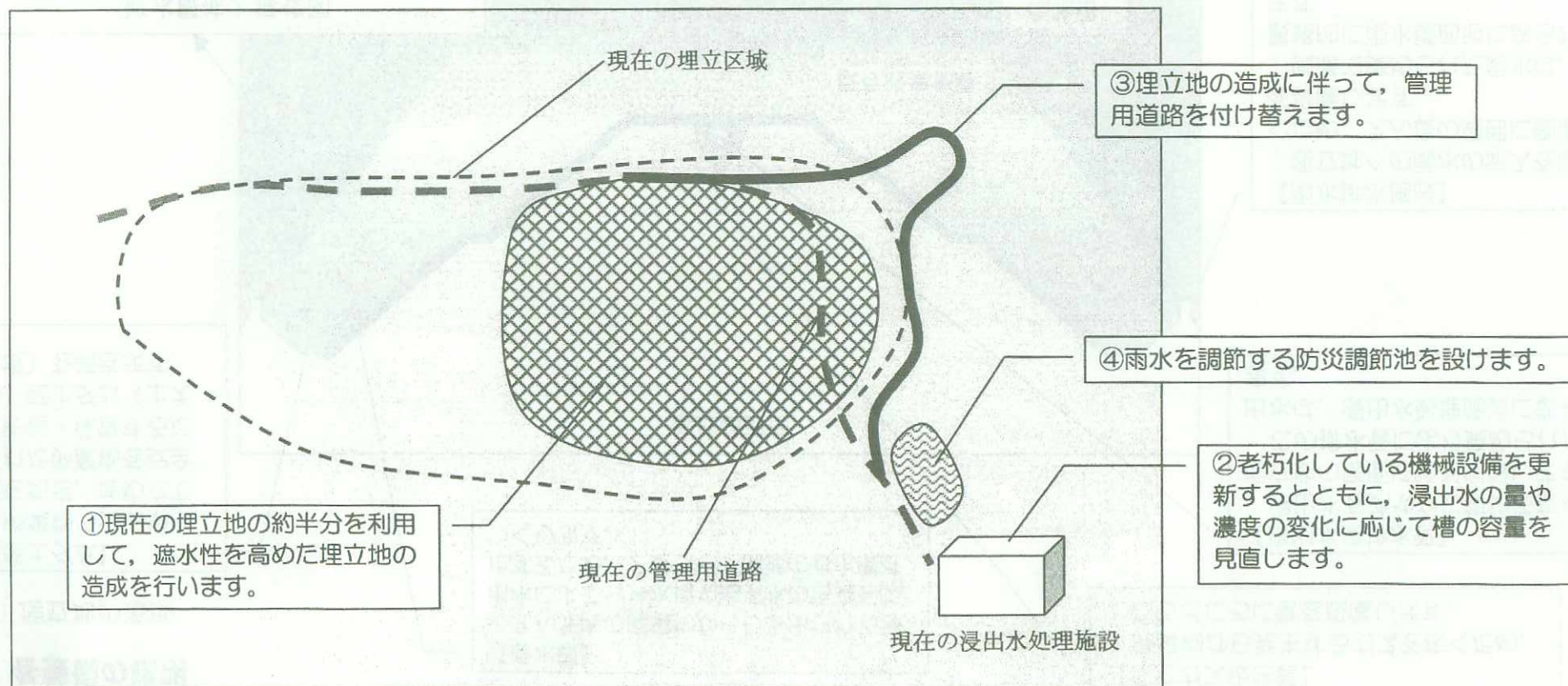
焼却残灰: クリーンセンターから排出されたもの
 破碎不燃物: 不燃・粗大ごみの破碎処理されたもの
 資源ごみ残渣: びん・缶・ペットボトルの分別処理で残ったもの
 直接埋立: 不燃・粗大ごみで、破碎処理できないもの

再整備の趣旨とポイント

現在の処分場をより安全に使用するために・・・

- 埋立地の遮水性を高めます。
- 現在運転している浸出水処理施設の機械設備を更新します。
- 再整備によって必要となる道路や雨水排水施設などをつくります。

◆ 整備の全体像



◆ 各整備の説明

① 埋立地の造成

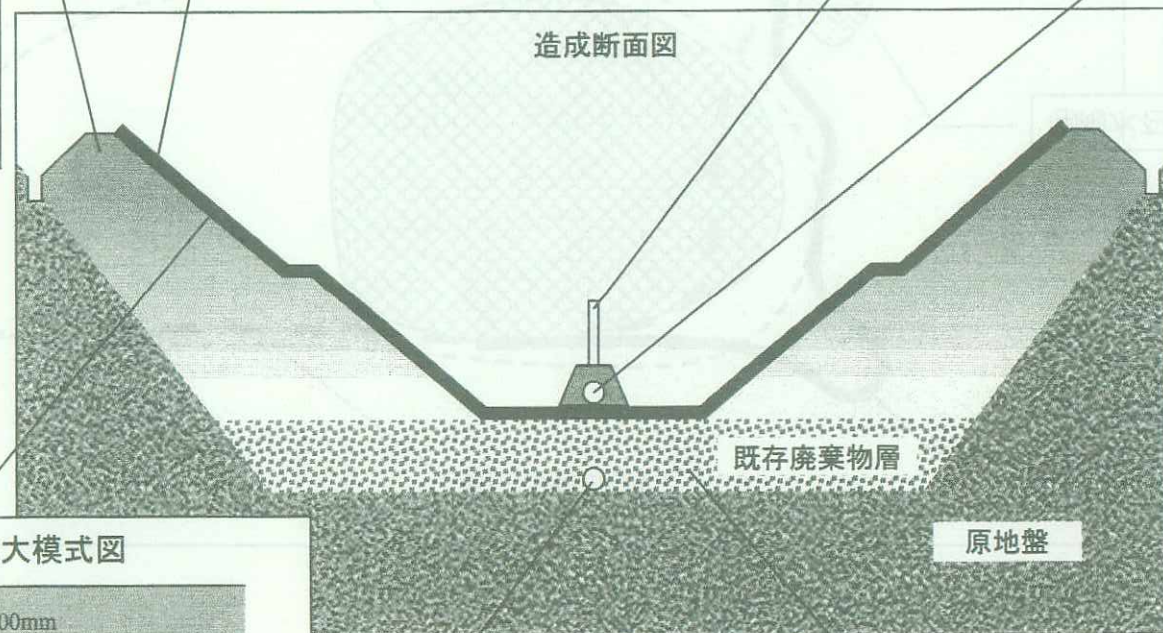
【盛土ダム】
 廃棄物の流出や崩壊を防ぎ、埋め立てられた廃棄物を安全に貯留・保管するため、盛土ダム（土えん堤）を築きます。

【遮水層】
 えん堤内の廃棄物からしみ出される浸出水による公共水域や地下水の汚染を防止するため、2重シート構造の遮水層をつくります。

【埋立ガス抜き管】
 廃棄物から発生するガスを抜くため、ところどころに管を設置します。

【浸出水集排水管】
 浸出水を速やかに集めるため、埋立地の底面に管を埋設します。
 この排水管により集められた浸出水は、浸出水処理施設に送られます。

【雨水排水施設】
 埋立地への雨水の流入を防ぐため、えん堤の周囲に側溝を設置します。
 側溝で集められた雨水は、最終的に雨水調節池に送られます。



遮水層拡大模式図

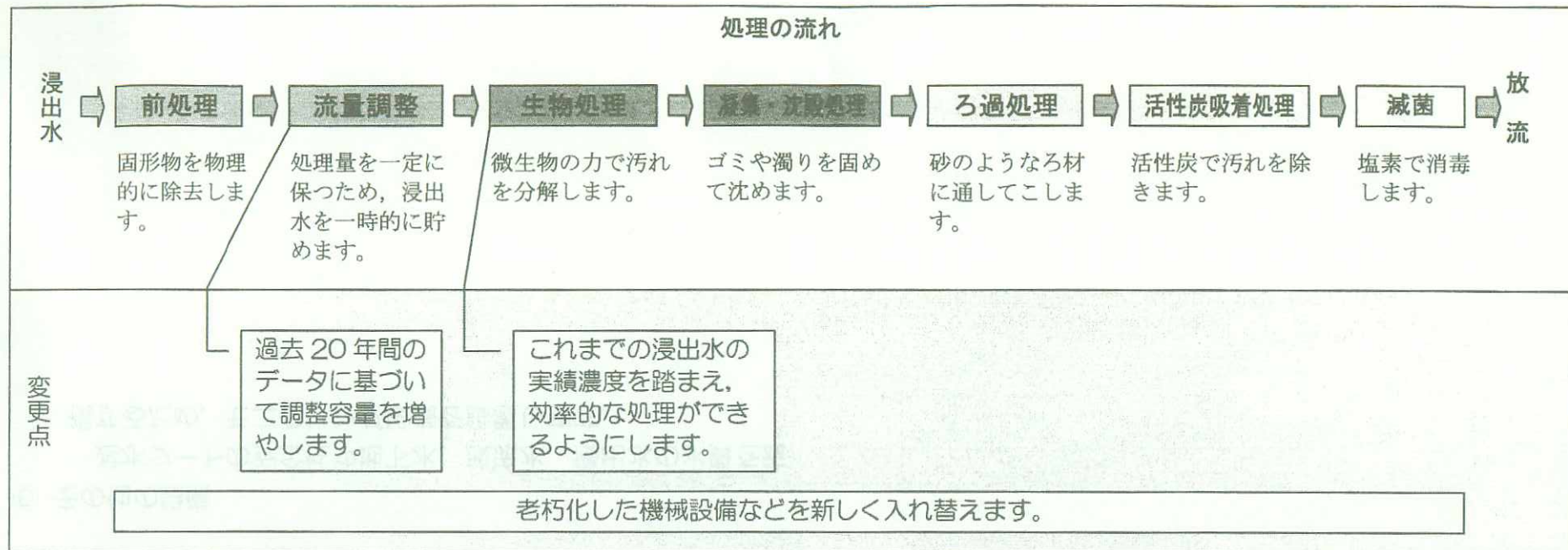
保護土	厚さ 500mm
遮光性不織布	厚さ 4.0mm
シート	厚さ 1.5mm
不織布	厚さ 6.5mm
シート	厚さ 4.0mm
不織布	厚さ 10.0mm
覆土	厚さ 500mm

【既設の浸出集水排水管】
 浸出水の集排水は、新旧廃棄物の2系統で行います。

【地盤改良】
 既存の廃棄物層に対して締め固めによる地盤改良を行います。

② 浸出水処理施設の改造・更新

処理能力：1日あたり 330m³（処理能力は変更しません。）



放流水質の設計値

部長
(沢水の上流・下流も調査が必要かも。)

水質	放流水質の設計値	排水基準	水質の説明
PH	6.5~8.6	5.8~8.6	酸性か中性かアルカリ性かを数値で表すもの。
BOD	20 mg/l 以下	60 mg/l 以下	溶解性有機物で汚染された水の汚れ具合を数字で表したもの。
COD	50 mg/l 以下	90 mg/l 以下	微生物を介さず酸化剤を用いて、その汚水が酸化剤の中の酸素をどのくらい消費するかを数値化して、水の汚れ具合を表したもの。
SS	10 mg/l 以下	60 mg/l 以下	水中に浮遊する“粒”の量を、単位あたりで示す指標。実際に水中に存在する固形物の量を表す事で、濁りの指標となる。

(7月調査)

23

1.1mg

9.3mg

1mg未満

処理水廃出場所と中間地渠、下流に調査。
「この数年減った」←埋め立てているものは変化なし。
アセス調査、若大教授の調査の結果を見る。

③ 管理用道路の付け替え

現在の管理用道路が埋立地となるため、埋立地の外側に付け替えます。

④ 防災調節池の設置

防災調節池を設置し、下流の沢や河川に負担をかけないようにします。

防災調節池は、気象データに基づいて30年に一度の大雨に対応できる容量を確保します。

⑤ その他の設備

遮水シートの安全性や地下水、放流水、浸出水の水質を監視するため、モニタリング設備を設置します。

